

山梨県主要農作物慣行慣行レベル一覧

※化学合成農薬の成分回数は特別栽培農産物表示ガイドラインにおける節減対象農薬の成分回数

No.	品目名	化学合成農薬の のべ成分回数	化学肥料由来の 窒素成分量 (kg/10a)	備考
1	露地もも（ネクタリンを含む）	31	14	せん孔細菌病発生地域の化学合成農薬ののべ成分回数は、33回
2	露地すもも	21	14	黒斑病発生地域の化学合成農薬ののべ成分回数は、23回
3	雨よけおうとう	24	10	
4	露地りんご	33	18	
5	露地かき	16	12	
6	露地うめ	7	13	
7	露地ぶどう（デラウェア）	19	13	
8	露地ぶどう【巨峰・ピオーネ、巨峰系品種群他（種なし栽培）】	33	8	
9	露地ぶどう【巨峰・ピオーネ、巨峰系品種群（オリンピア、安芸クイーン他）（種あり栽培）】	30	6	
10	露地ぶどう【シャインマスカット系2倍体品種（種なし栽培）】	37	8	
11	露地ぶどう【甲斐路系、欧州系品種】	30	12	
12	露地ぶどう【甲州種、醸造用甲州種、醸造用専用種（メルロー、カベルネ他）、マスカット・ベリーA】	18	12	
13	なし	36	22	
14	キウイフルーツ	14	15	
15	ブルーベリー	10	8	
16	あんず	12	13	平成30年3月追加
17	ベリー類	5	8	平成30年3月追加
18	水稻平坦地	14	10	
19	水稻中間地・高冷地	18	8	中間地・高冷地は標高400m以上の地域
20	小麦	6	12	
21	大豆	13	4.4	
22	施設抑制トマト	※1 38 (32)	※2 19	標準：8月中旬定植 収穫期間10月上旬～11月末（60日） 収量8 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののべ成分回数は6日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥料由来窒素成分量は、10日につき1.3kg又は収量1tにつき2.4kg増減

No.	品目名	化学合成農薬の のべ成分回数	化学肥料由来の 窒素成分量 (kg/10a)	備考
23	施設半促成トマト	※1 41 (35)	※2 27	標準：1月中下旬定植 収穫期間4月上旬～6月末（90日） 収量10 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののべ成分回数は10日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥料由来窒素成分量は、10日につき1.3kg又は収量1tにつき2.7kg増減
24	夏秋トマト	※1 49 (43)	※2 45	標準：5月下旬定植 収穫期間7月下旬～10月末（100日） 収量8 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののべ成分回数は4日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥料由来窒素成分量は、10日につき2.2kg又は収量1tにつき5.6kg増減
25	施設促成トマト	※1 69 (63)	※2 49	標準：8月中旬定植 収穫期間11月中旬～6月末（220日） 収量18 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののべ成分回数は10日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥料由来窒素成分量は、10日につき1.45kg又は収量1tにつき2.7kg増減
26	中玉トマト（雨よけ、夏秋どり）	※1 46 (40)	※2 42	標準：4月下旬定植 収穫期間6月下旬～10月末（130日） 収量9 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののべ成分回数は4日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥料由来窒素成分量は、10日につき1.08kg又は収量1tにつき4.7kg増減
27	ミニトマト（雨よけ、夏秋どり）	※1 46 (40)	※2 42	標準：4月下旬定植 収穫期間6月下旬～10月末（130日） 収量4 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののべ成分回数は10日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥料由来窒素成分量は、10日につき1.08kg又は収量1tにつき10.5kg増減
28	施設抑制きゅうり	※1 43 (37)	※2 27	標準：8月上旬定植 収穫期間9月中旬～11月末（80日） 収量6 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののべ成分回数は5日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥料由来窒素成分量は、10日につき1.5kg又は収量1tにつき4.5kg増減
29	施設半促成きゅうり	※1 50 (44)	※2 44	標準：8月上旬定植 収穫期間9月中旬～11月末（80日） 収量6 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののべ成分回数は5日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥料由来窒素成分量は、10日につき1.5kg又は収量1tにつき4.5kg増減

No.	品目名	化学合成農薬の のべ成分回数	化学肥料由来の 窒素成分量 (kg/10a)	備考
30	夏秋きゅうり	※1 33	※2 35	標準：5月播種又は6月定植 収穫期間7月中旬～10月末（120日） 収量8 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののべ成分回数は7日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥料由来窒素成分量は、10日につき2.5kg又は収量1tにつき4.4kg増減
31	施設促成きゅうり	※1 62 (56)	※2 44	標準：10月上旬定植 収穫期間11月下旬～3月下旬（130日） 収量10 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののべ成分回数は10日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥料由来窒素成分量は、10日につき1.85kg又は収量1tにつき4.4kg増減
32	夏秋なす	※1 45	※2 50	標準：4月中下旬定植 収穫期間5月下旬～10月末（160日） 収量10 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののべ成分回数は10日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥料由来窒素成分量は、10日につき2.2kg又は収量1tにつき5.5kg増減
33	抑制なす	※1 42	※2 40	標準：6月下旬定植 収穫期間7月中旬～11月上旬（120日） 収量8 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののべ成分回数は10日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥料由来窒素成分量は、10日につき5.0kg又は収量1tにつき5.5kg増減
34	さやいんげん	※1 11	※2 19.5	標準：6月下旬定植 収穫期間8月上旬～10月上旬（70日） 収量2 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののべ成分回数は25日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥料由来窒素成分量は、10日につき0.64kg又は収量1tにつき9.75kg増減
35	さやえんどう	※1 9	※2 18	標準：6月上旬定植 収穫期間7月下旬～10月下旬（100日） 収量2 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののべ成分回数は20日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥料由来窒素成分量は、10日につき0.6kg又は収量1tにつき11.0kg増減
36	スイートコーン（トンネル）	10	40	
37	スイートコーン（露地）	8	40	
38	レタス（露地）	8	20	
39	カリフラワー（春まき）	7	32	
40	カリフラワー（夏まき）	10	32	
41	ブロッコリー（春まき）	8	28	
42	ブロッコリー（夏まき）	12	28	

No.	品目名	化学合成農薬の のべ成分回数	化学肥料由来の 窒素成分量 (kg/10a)	備考
43	はくさい	12	22	
44	ほうれんそう（雨よけ）	7	20	
45	たまねぎ	7	24	
46	だいこん	8	15	
47	ながいも	7	35	
48	かぼちゃ	10	18	
49	ズッキーニ（露地）	12	18	
50	にがうり	10	30	
51	いちご（促成）	※1 42	※2 40	標準：9月中下旬定植 収穫期間12月上旬～4月下旬（150日） 収量3.5t/10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののべ成分回数は15日につき1成分増減 ※2 収量増加に伴う化学肥料由来窒素成分量は、収量1tにつき11.4kg増減
52	ほうれんそう（秋冬どり）	6	18	
53	なばな（秋冬まき）	10	25	
54	サントウサイ（秋冬まき）	6	18	
55	しゅんぎく（秋冬まき）	6	14.8	
56	ちんげんさい（秋冬まき）	7	11.2	
57	こまつな（秋冬まき）	6	14	
58	つけな（野沢菜、鳴沢菜など）	10	29	
59	茎ブロッコリー（夏まき）	9	26.8	
60	茎ブロッコリー（春まき）	11	26.8	
61	非結球メキャベツ	11	26.8	
62	アスパラガス	24	32	
63	キャベツ	26	25	
64	ばれいしょ	6	16.8	
65	さといも	10	37.4	
66	にんにく	12	24	
67	クレソン	※1 3	※2 18.8	標準：5月上旬定植 収穫期間7月下旬～11月下旬（150日） 収量3t/10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののべ成分回数は30日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥料由来窒素成分量は、10日につき0.3kg又は収量1tにつき6.3kg増減
68	ピーマン（夏秋どり）	12	32	

No.	品目名	化学合成農薬の のべ成分回数	化学肥料由来の 窒素分量 (kg/10a)	備考
69	おくら（夏秋どり）	11	32	
70	とうがらし類（夏秋どり）	10	32	
71	レタス（非結球含む、夏秋どり）	10	15	
72	長ねぎ（秋冬どり）	11	23	
73	みずな（秋どり）	6	15	
74	にんじん（秋冬どり）	5	16	
75	かぶ（小かぶ、春どり）	4	15	
76	かぶ（小かぶ、秋どり）	6	15	
77	さつまいも	7	5	
78	スイートコーン（ハウス）	6	33	
79	べにばないんげん	6	12	
80	茶	14	69.4	

注）育苗期又は購入種苗に使用されている薬剤についてもカウントの対象とする。
ただし、購入苗を使用した場合には、本圃での使用回数として（ ）書き内の数値を用いるものとする。